

ジュニア賞

## 思いやりゲーム

男鹿谷 亮太 (高校3年生:神奈川県)

日常において「ここに手すりがあつたらな」「階段だけではなくスロープも作ればいいのになあ」などなどこういった不満を抱きながら生活をしています。このように思っているのは僕だけではないと思います。体の不自由な方やお年寄りの方は特に思われているのではないのでしょうか。

そこで体の不自由な人やお年寄りがより良い暮らしができるゲームを考えました。このアイデアはバリアフリーが必要だと思う所の写真を撮り位置情報と一緒に設定された機関に送信します。そこで、送られてきた画像をもとにバリアフリーが必要かどうかAIに判断させます。必要とされた場合その、写真を贈った人にその設定された機関から感謝状が授与される仕組みです。

感謝されるととても良い気分になり、またこのゲームに参加してみようかなって思っていたらバリアフリーが必要な所が減少し体の不自由な方やお年寄りの方が暮らしやすくなり生活も豊かになります。結果、心の中に余裕が生まれ笑顔が増え日本という国がもっともっと明るくなると僕は思いました。

このゲームの一番のメリットは、写真を撮って設定された機関に送るだけなので誰でも簡単に参加でき2020年に行われる東京パラリンピックで日本に来る人々への「おもてなし」になるのです。そうする事によって、日本にたくさんの外国の方が来て現代社会を維持・発展させることができます。